

今月のピックアップ

JCOG2004 大腸がんグループ 新規試験

大腸がんは罹患数、死亡数ともに年々増加しています。本邦においては、2017年にがんで死亡した人は373,334人（男性220,398人、女性152,936人）で、そのうち大腸がんの死亡数は男性27,334人、女性23,347人で、特に女性では全がん種の中で最も多いと報告されています。

切除不能進行・再発大腸がんの薬物療法は、一次治療から四次あるいは五次治療まで開発されており、逐次的なレジメンの変更を行いつつ継続することが望ましいとされています。しかしながら二次治療以降の全生存期間は10か月前後と予後不良であり難治性と言わざるを得ません。

今回私達は、大腸がんの二次治療の治療成績向上を図るためにJCOG2004試験を立案しました。

大腸がん二次治療で頻用されるレジメンは、血管新生阻害薬と殺細胞性抗がん薬の併用ですが、併用する血管新生阻害薬は3種類存在し、このうちいずれか一つを選択して併用することになっています。3種類の血管新生阻害薬は、「ベバシズマブ」、「ラムシルマブ」、「アフリベルセプト」で、それぞれFOLFIRI療法（フルオロウラシル、オキサリプラチン、イリノテカンの併用療法）と併用することによりFOLFIRI療法単独と比較して生存期間の延長を示しました。しかし、これら3種類の血管新生阻害薬の直接比較は行われておらず、日常診療では血管新生阻害薬のいずれを使用すべきか臨床現場で困ることが多いことが問題だと考えます。医学的な根拠に基づいて選択できないことが現状であると言えます。

近年、これら血管新生阻害薬の効果予測因子の報告が散見されるようになりました。大腸がん二次治療の治療前の血液中の血管新生関連因子の動態が、治療効果に影響を与えることが示唆されています。JCOG2004試験では、切除不能進行・再発大腸がんにおける二次化学療法の標準治療を「ベバシズマブ＋FOLFIRI療法」とし、試験治療である「ラムシルマブ＋FOLFIRI療法」、「アフリベルセプト＋FOLFIRI療法」をランダム化し、治療法の選択に有効な効果予測因子となるバイオマーカーを探索することを目的としています。

また、効果予測因子となるバイオマーカーが判明した場合には、「ベバシズマブ＋FOLFIRI療法」に対して「ラムシルマブ＋FOLFIRI療法」、「アフリベルセプト＋FOLFIRI療法」の有効性が

期待される集団を抽出し、次期第III相試験の対象を設定する予定です。

これら、3種類の血管新生阻害薬を直接比較した前向き臨床試験は存在せず、世界初の試みになるものと自負しております。試験遂行に向けて、皆さまのご指導・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



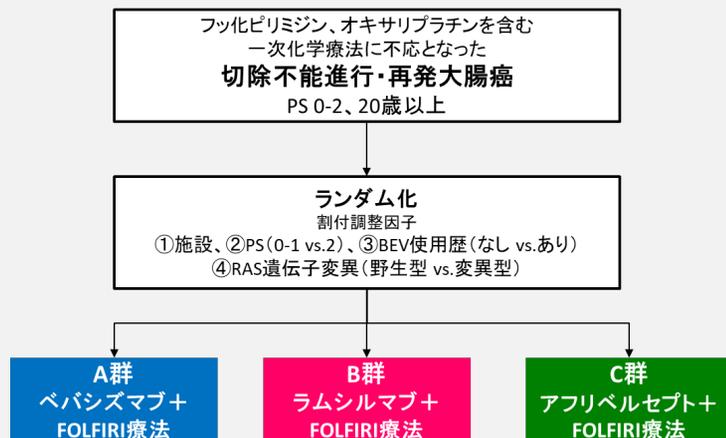
研究事務局 大津 智



研究代表者 廣中 秀一

研究名称 JCOG2004

「切除不能進行・再発大腸癌に対する二次化学療法におけるFOLFIRI療法と併用するVEGF阻害薬（ベバシズマブ、ラムシルマブ、アフリベルセプト）の選択に有用なバイオマーカーを探索するランダム化第II相試験」



JCOG研究の論文公表

◇ 消化器内視鏡/胃がん JCOG1009/1010S2 堀内裕介 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35168294/>

Pretreatment risk factors for endoscopic noncurative resection of gastric cancers with undifferentiated-type components
Journal of G and H, 2022 Feb 15, Online ahead of print.

◇ 骨軟部腫瘍グループ JCOG0304A1 小田義直 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35062915/>

Standardization of evaluation method and prognostic significance of histological response to preoperative chemotherapy in high-grade non-round cell soft tissue sarcomas
BMC cancer, 2022 Jan 21

◇ 胃がんグループ JCOG0110S2 寺島 雅典 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35082047/>

Prediction of the peritoneal recurrence via the macroscopic diagnosis of the serosal invasion in patients with gastric cancer: Supplementary analysis of JCOG0110
EJSO, 2022 Jan 19, Online ahead of print

◇ 肝胆膵グループ JCOG1113S6 山田 育弘 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35046457/>

The clinical outcomes of combination chemotherapy in elderly patients with advanced biliary tract cancer: an exploratory analysis of JCOG1113
Scientific Reports, 2022 Jan 19

JCOG研究に関わる研究結果やイベント情報など最新情報を発信しますので、ぜひフォローしてくださいね！

Twitter ユーザーネーム: @JCOG_official URL: https://twitter.com/JCOG_official/

Facebook ページ URL: https://www.facebook.com/JCOG_official

JCOGウェブサイトの[トップページ](#)のパナーからも関連ページへアクセスいただけます。

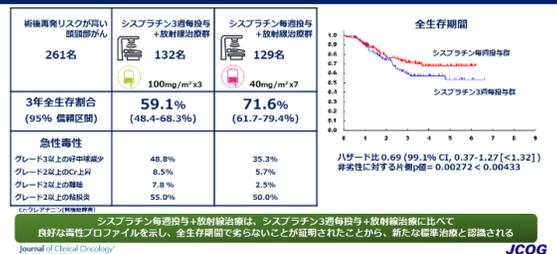
◇ 頭頸部がんグループ JCOG1008 清田 尚臣 先生

<https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/35230884/>

Weekly Cisplatin Plus Radiation for Postoperative Head and Neck Cancer (JCOG1008): A Multicenter, Noninferiority, Phase II/III Randomized Controlled Trial Journal of Clinical Oncology, 2022 MAR 1, Online ahead of print.

頭頸部がんの術後補助療法の新たな標準治療を確立～標準治療の普及と予後の改善を期待～

術後再発リスクを有する頭頸部扁平上皮癌患者を対象として、シスプラチン3回毎投与+放射線治療と、シスプラチン毎週投与+放射線治療を比較した第II/III相試験；JCOG1008試験の結果



https://www.ncc.go.jp/jp/information/pr_release/2022/0302/index.html

担当医別月間登録数



- ◇ 肺がん内科グループ(月間登録数:2)
新野祐樹 先生/国立がん研究センター中央病院
木下郁彦 先生/国立病院機構九州がんセンター
安藤雄基 先生/獨協医科大学病院
 - ◇ 肺がん外科グループ(月間登録数:3)
宮田義浩 先生/広島大学病院
 - ◇ 胃がんグループ(月間登録数:5)
尾島敏康 先生/和歌山県立医科大学
 - ◇ 食道がんグループ(月間登録数:2)
曾根田亘 先生/浜松医科大学
 - ◇ 乳がんグループ(月間登録数:2)
前田茂人 先生/国立病院機構長崎医療センター
 - ◇ リンパ腫グループ(月間登録数:2)
丸山大 先生/がん研究会明病院
蒔田真一 先生/国立がん研究センター中央病院
亀岡吉弘 先生/秋田大学医学部
 - ◇ 大腸がんグループ(月間登録数:4)
出口勝也 先生/埼玉医科大学国際医療センター
松田宙 先生/大阪国際がんセンター
 - ◇ 骨軟部腫瘍グループ(月間登録数:2)
筑紫聡 先生/愛知県がんセンター
 - ◇ 脳腫瘍グループ(月間登録数:3)
松田憲一郎 先生/山形大学医学部
 - ◇ 肝胆膵グループ(月間登録数:4)
鎌田研 先生/近畿大学病院
 - ◇ 皮膚腫瘍グループ(月間登録数:2)
面高俊和 先生/信州大学医学部
前田拓 先生/北海道大学病院
八田尚人 先生/富山県立中央病院
- (担当医別最多登録数が1例のグループは割愛しています)

グループごと月間登録数



登録数月次レポート

<https://secure.jcog.jp/DC/DOC/member/report/index.html>

グループ	12月	1月	2月	合計
大腸がん	38	55	66	159
胃がん	41	33	38	112
肺がん内科	34	30	29	93
皮膚腫瘍	27	21	14	62
乳がん	26	18	15	59
肺がん外科	22	21	15	58
リンパ腫	20	14	20	54
肝胆膵	16	15	18	49
脳腫瘍	14	6	22	42
放射線治療	17	13	8	38
消化器内視鏡	10	12	14	36
食道がん	11	10	12	33
婦人科腫瘍	15	10	6	31
頭頸部がん	6	7	8	21
骨軟部腫瘍	4	6	9	19
泌尿器科腫瘍	3	1	1	5
合計	304	272	295	871



JCOGデータセンターより
～ 今月のひとこと ～

● 2022年2月の登録例は295例でした

こちら2月はworking daysが限られますが、ここ数年では過去最高の登録数となります。今月も多くのご登録ありがとうございました。

